

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(元)年度
		興味を持って活動に取り組むための指導
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	箱を積んでみよう
	授業の目標	・箱を積むと音が鳴ることに気づき、興味を持っていろんな箱を積んでいくことができる。
	学力の3要素	<input type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (1)年 (4)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input checked="" type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input checked="" type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 ・興味の幅が狭く、集中する時間が少ない。また、待つことが苦手な児童が多い。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) ・児童の興味を引き出し、自ら物に関わろうとしてほしい。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	支援機器:iPad Bluetoothスピーカー アプリケーション:効果音アプリ 
授業展開	授業展開・支援の手立て	各教科等を合わせた指導の時間にiPadの「効果音アプリ」を使用した。Bluetoothスピーカーに接続して教室内で聞き取れるようにした。(Bluetoothスピーカーは児童の手が届かない場所に見えないように設置した。) 「箱を積んでみよう」の単元を始めるに当たり、音楽が好きな児童であるため、箱を積むと音が鳴る、ということに興味関心を引き、楽しく取り組めるのではないかと考え、iPadの「効果音アプリ」を利用することにした。想像力を働かせて活動することが苦手な児童に対して、「効果音アプリ」の中のMy効果音で「箱積み」のフォルダを作り、児童が好む効果音を選別して、児童が箱を積んだときのタイミングに合わせて音が出るようにした。全員が箱を積んだら音が鳴るという因果関係が分かり、活動に取り組むことができた。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	どの児童も箱を積むと音が鳴るということを理解し、箱積みに対して興味を持つことができた。自分から箱を取りに行き、積むという動作を繰り返し、音が鳴るのを期待して行動していた。最初は音が鳴ることに興味を持って取り組んでいたが、回数を重ねると箱を高く積むことや箱で何かを作ることなどにも発展していった。積むたびに音が鳴るため、待っている児童も楽しむことができた。